



TERAKOYA Program



2024年度

実施効果報告レポート

【事業者名】

イコールチャンス株式会社

【サービス名称】

TERAKOYA Program

【支援項目】

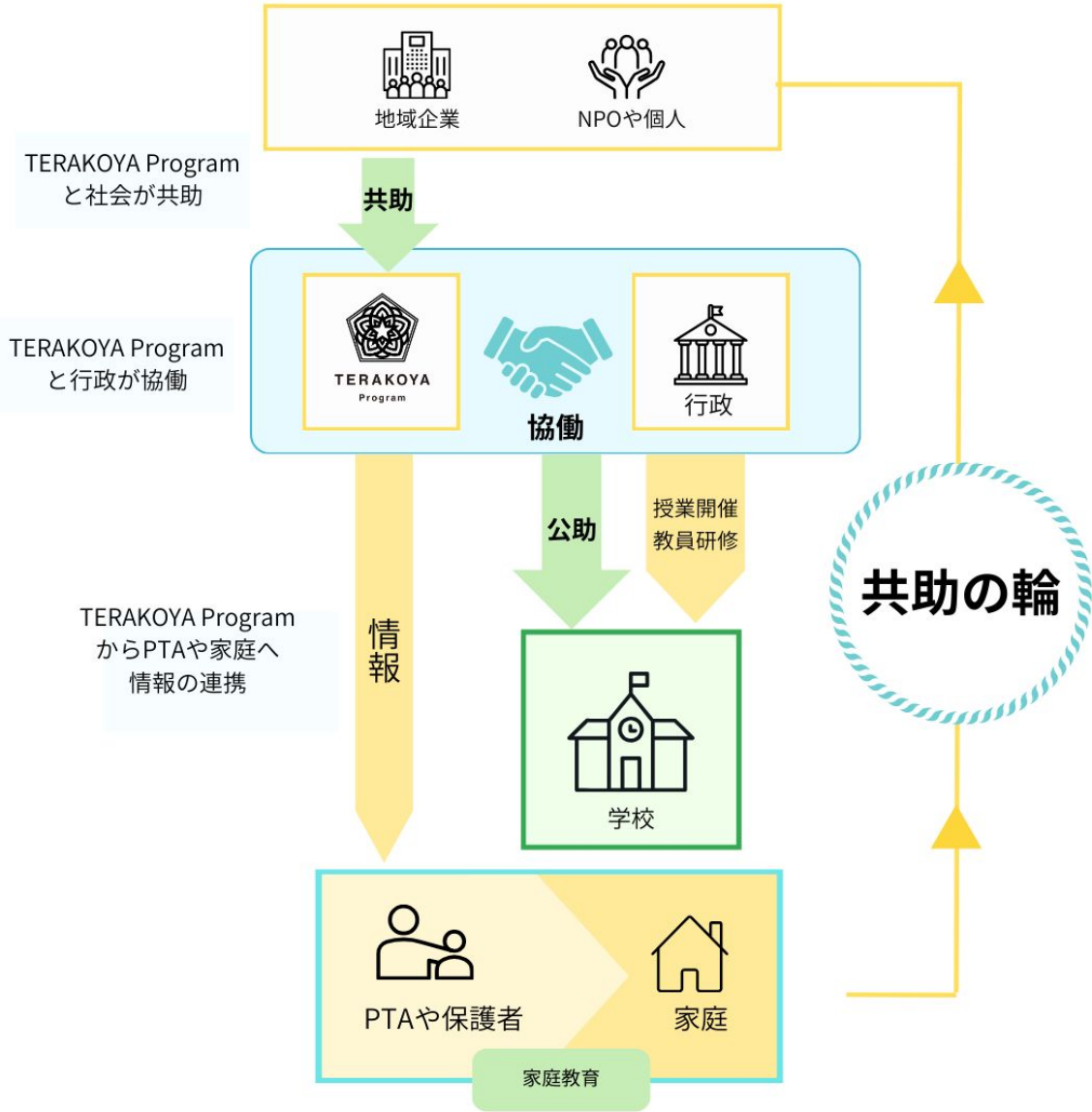
- ・授業
- ・授業準備
- ・生徒指導(集団)

2025年1月



TERAKOYA Program

「社会全体で次世代を育てる」をミッションに掲げた、社会と学びを近づけるキャリア教育プログラム。
学校現場だけに教育を任せきりにせず、専門知識を持つ企業と人が学校と協力し学びを提供。
学校の持つ様々な課題をヒアリングし、カスタマイズをする『教育現場の課題解決』と、実社会に繋がる『キャリア教育』を掛け合わせた内容の授業構築と、企業とコーチとなるプロフェッショナルとの繋がりに強みを持つ。



学校等設置者数：3 自治体

導入学校数：13 校

受講児童生徒数：1,301 名



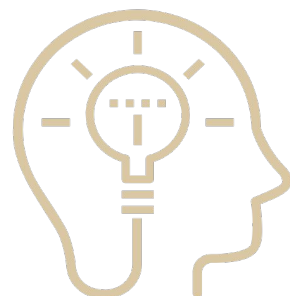
4つのテーマ

心を開放することを知る
アートの授業

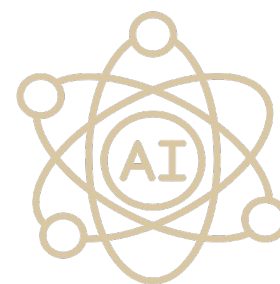
新しいことを学ぶ前に、まずは「当たり前」から外れ「心の解放」をアートを通して行います。上手下手という評価から離れ、アートを五感で感じながら、自由に表現する楽しさと非認知能力にアプローチをして、これから行う授業を受け取る土台をつくります。



多様性のある組織づくりが求められる企業の研修にも、近年取り入れられ高く注目されている『アンコンシャスバイアス＝無意識の偏見』。自らが生きてきた経験からくる『無意識の偏見』を知ること、多様性を本質的に理解し、EQを高める一助となります。

無意識の偏見と向き合う
自身と多様性を受容する授業テクノロジー社会との共存
デジタルシティズンシップの授業

一人一台のICT機器導入により、学習のみならず家庭利用の機会も増え、より実用的な学びが必要になりました。デジタル前提の世界で生きる子どもたちに、自分も他者も安心安全かつ賢く合理的に利用できるパブリックモラルを身につけ、デジタルを利用して社会に生きる可能性を広げます。



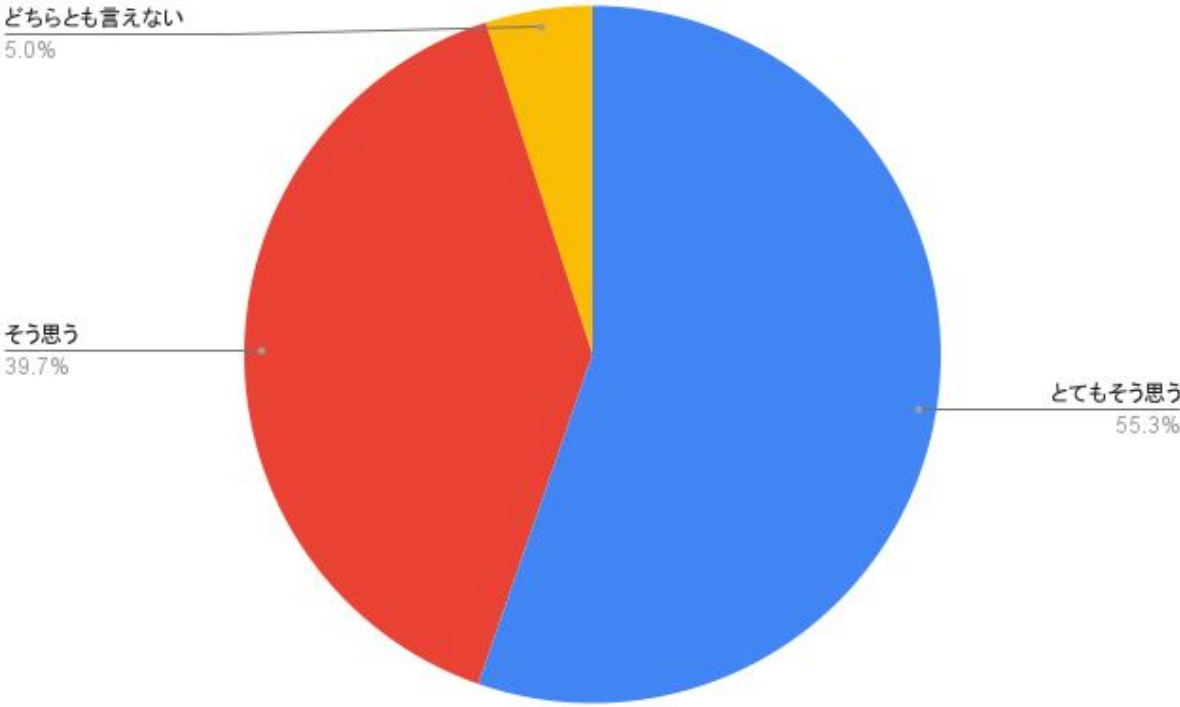
「いま自分たちが学んでいることが、将来や社会とどう繋がりがあるのか？」
社会とどう関わり、自分はどんな役割を担い、どんな風に生きていくのか、その実現にはどんなことが必要なのか？など、人生そのものを一緒に考える。教育現場と社会を繋げ、実践的なキャリア教育を届けます。

学びと社会を繋げる
キャリアの授業



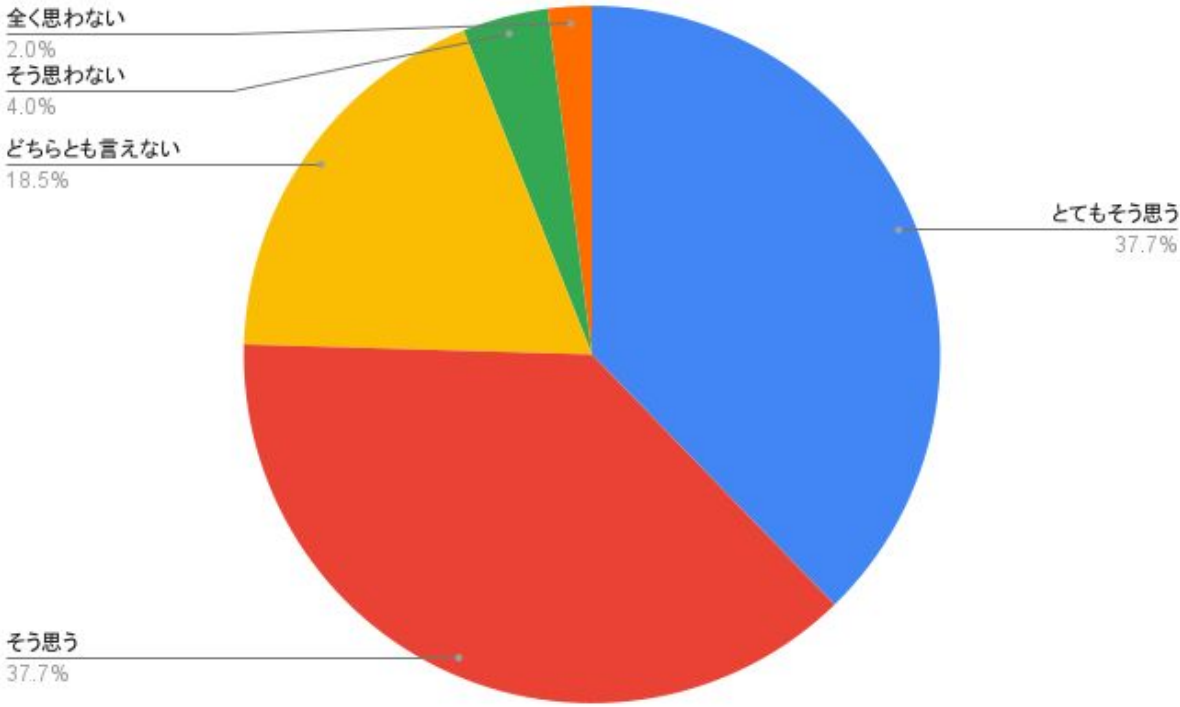
児童へのアンケート

授業の内容が今後の学校生活や
将来に生かせると感じたか



95%の児童がTERAKOYA Programの授業を
今後に生かせる と回答

授業の内容が将来や自分のことを
考えるきっかけになったか

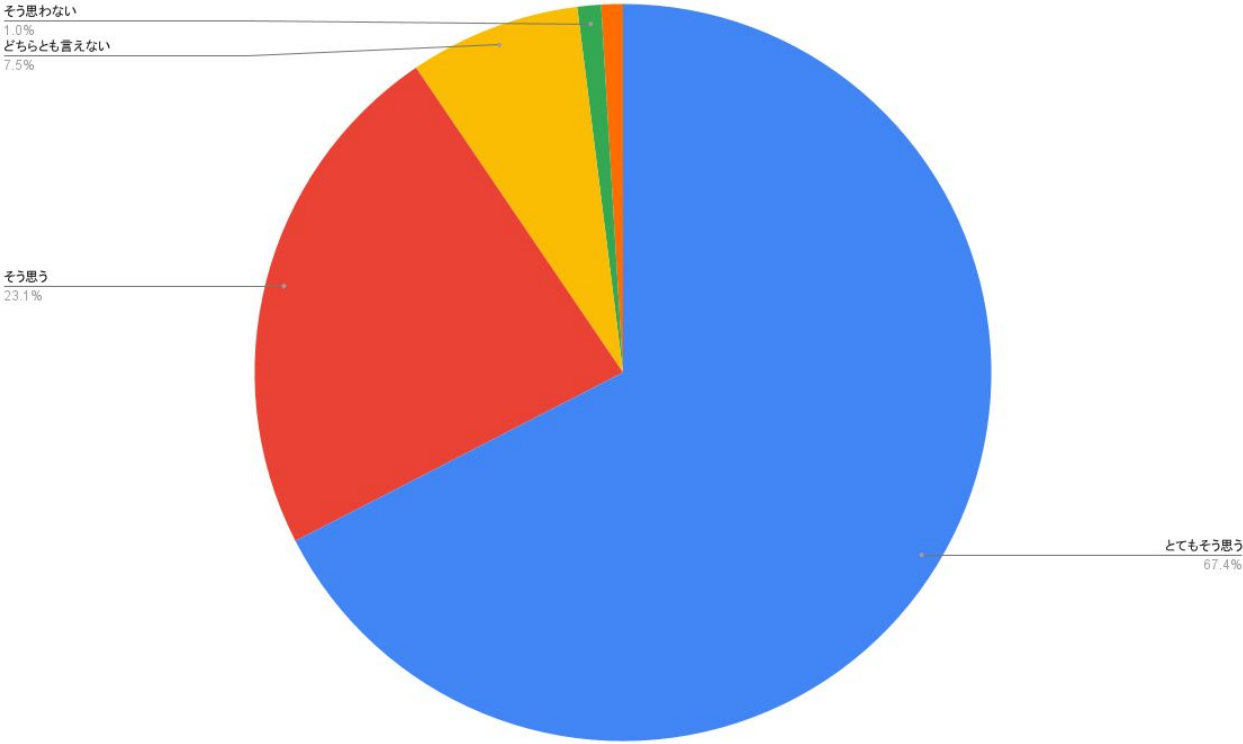


75%の児童がTERAKOYA Programの授業を
将来や自分のことを考えるきっかけになった と回答



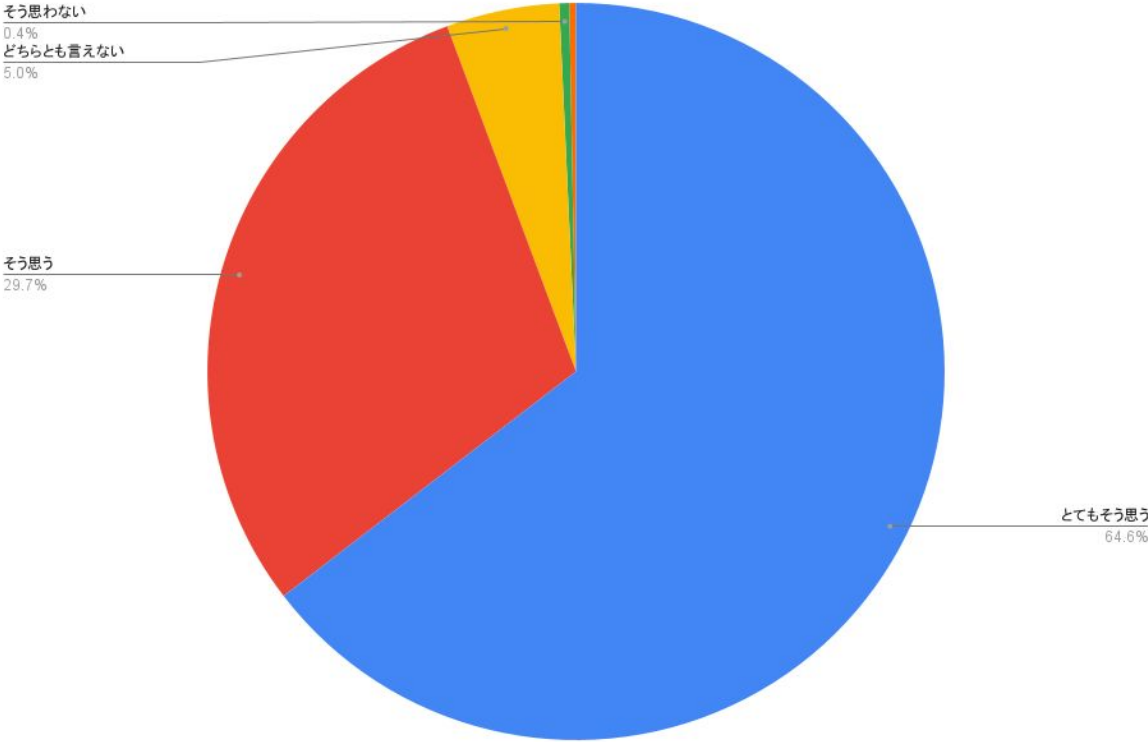
児童へのアンケート

TERAKOYA Programの授業を
また受けたいと思うか



90%の児童がTERAKOYA Programの授業を
また受けたいと回答

授業はわかりやすかったか

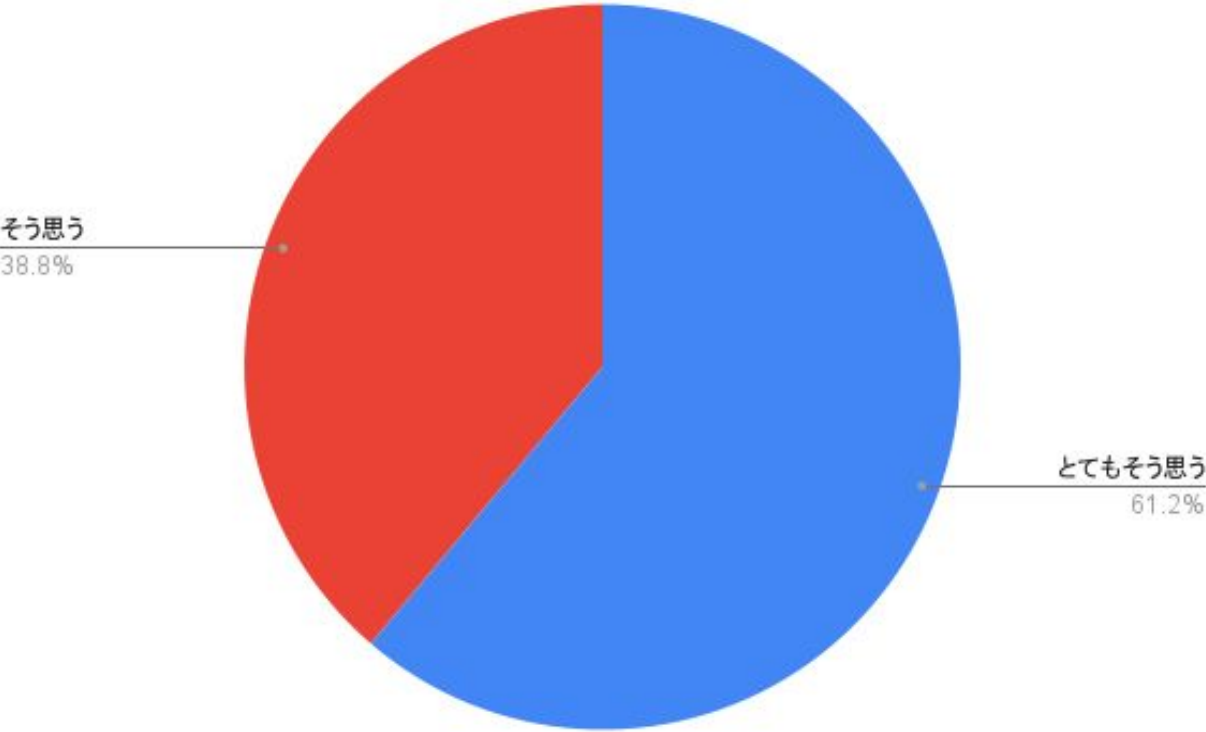


94%の児童がTERAKOYA Programの授業を
わかりやすかったと回答



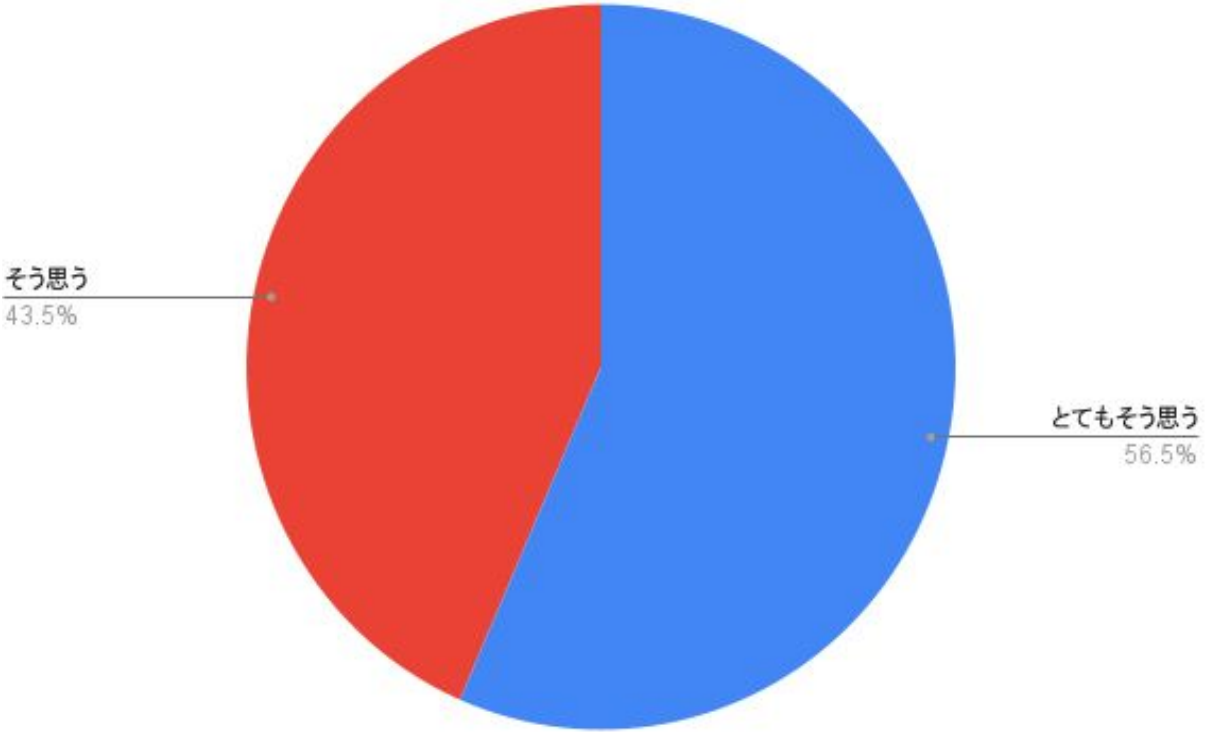
教員へのアンケート

大人にも学びのある内容だったか



100%の教員がTERAKOYA Programの授業を
大人にも学びがある と回答

授業はわかりやすかったか



100%の教員がTERAKOYA Programの授業を
わかりやすかった と回答



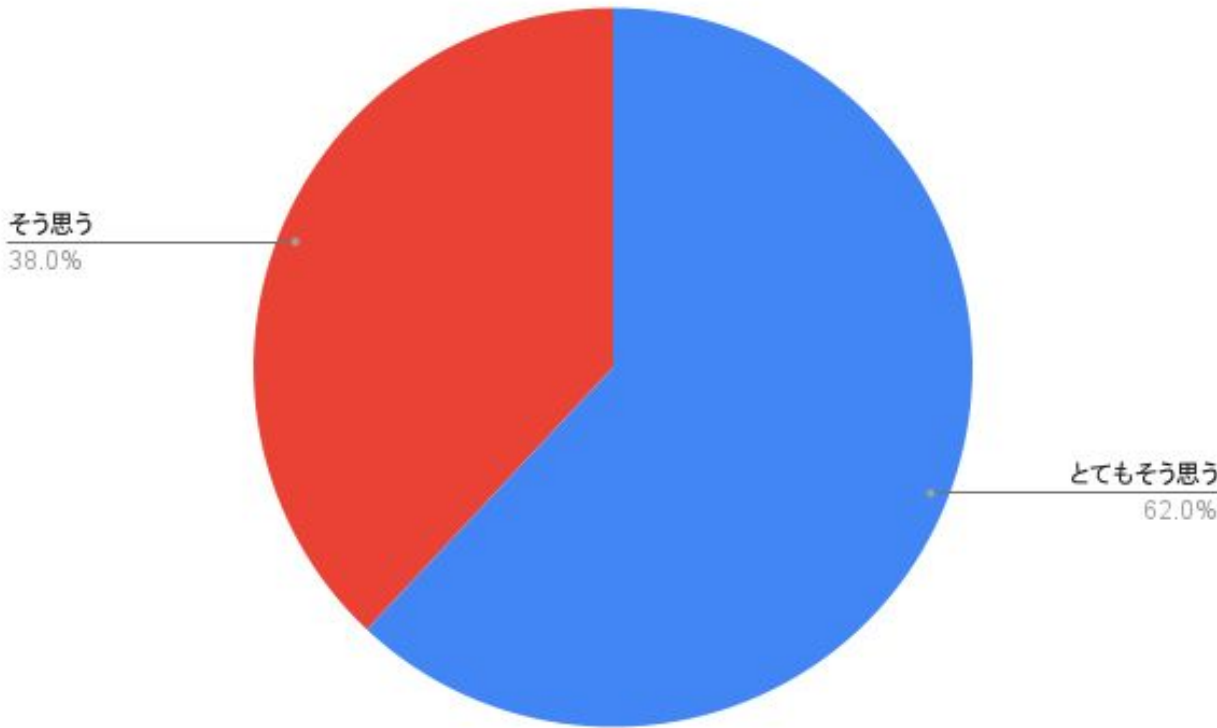
教員へのアンケート

子どもたちにとって役に立つと
感じる授業だったか



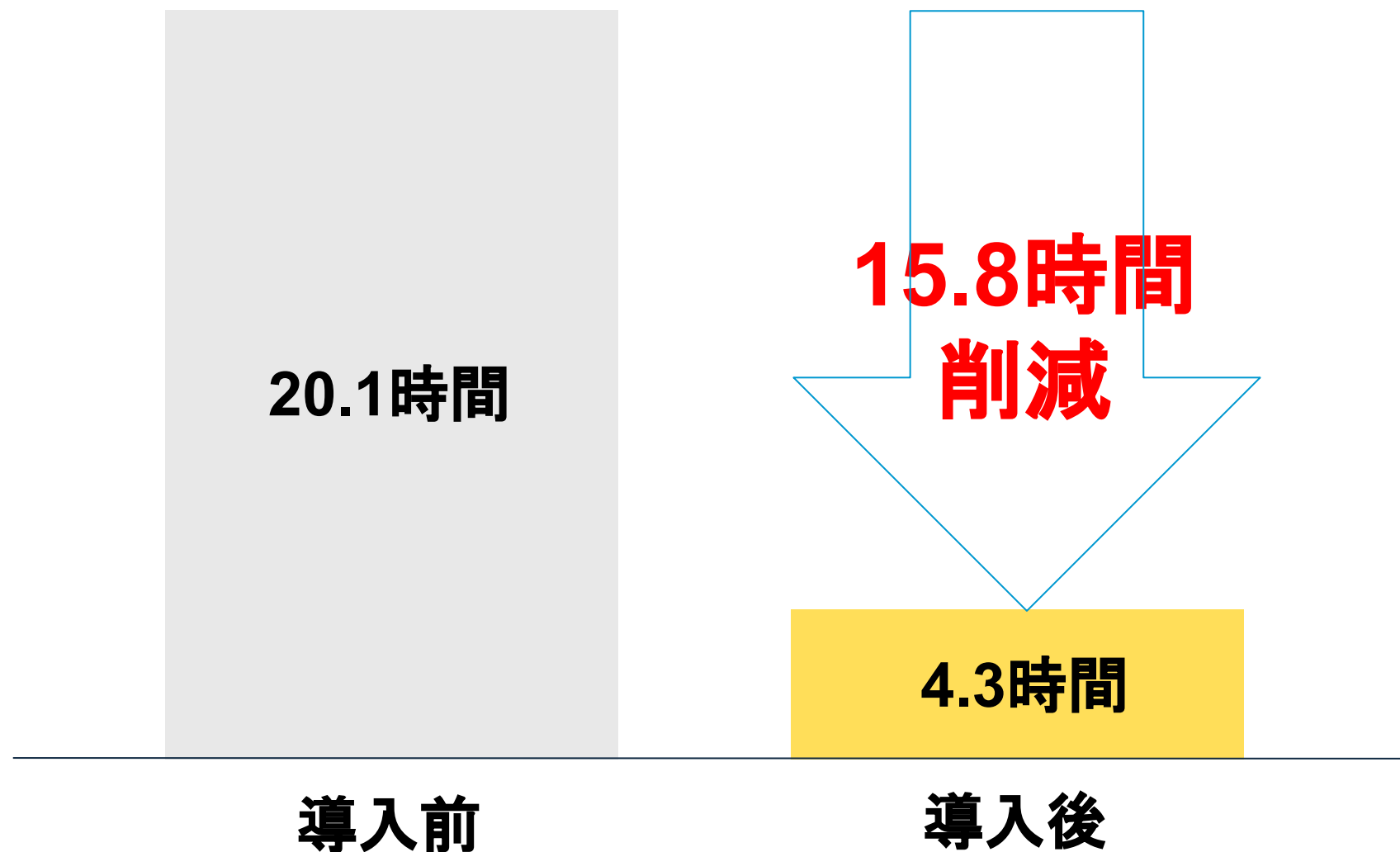
100%の教員がTERAKOYA Programの授業を
子どもたちの役に立つ と回答

TERAKOYA Programの授業を
子どもたちにまた受けてほしいか



100%の教員がTERAKOYA Programの授業を
また受けてほしい と回答

サービスを導入したことによる教員の授業準備にかかる平均時間の変化



導入までの課題と改善策

課題1: サービスを導入したいが、具体的に何をすれば良いのか、どのくらい労力がかかるのかなど、イメージがつきにくい。

改善策

今後は、授業実施までに必要な準備と日程感を写真やイラストと共にまとめた「手順書」を作成し、「どのくらい簡単に導入できるのか」「どのくらい教員が業務負担の軽減を実感できるのか」をイメージできるよう、導入検討段階から教育委員会・学校の先生方に配布することで改善を図る。

課題2: TERA KOYA Programの導入が本当に学校のためになるものなのか、信頼できるサービスなのかを判断できる材料がない。

改善策

これまでに導入をいただいた自治体、学校関係者からヒアリングしたリアルな声を、名前や学校名を伏せ、原文のまま開示。また、必要に応じて、導入実績のある自治体、導入校の関係者からTERA KOYA Programについての実態、評価などをヒアリングできる機会を用意。

導入時の課題と改善策

課題: 地域や児童の特性、教員からの期待値や要望など、学校の実態に合わせ、授業をもっとカスタマイズしてほしい。

改善策

従来より先生方のご負担を最小限に抑えつつ、打ち合わせを通し全ての授業内容をカスタマイズし授業を実施。学校、先生方の要望に合わせ打ち合わせの回数をカスタマイズ、より良い授業の提案に努める。
また同時に、今後は各授業テーマに対し、事前に授業内容の難易度や教材のパターンを複数提案することで、追加の打ち合わせ時間が確保できない場合でも、適切な授業内容を選択できるような仕組みを構築することで、より良い授業の選択が可能になるよう改善。

導入後の課題と改善策

課題: 継続的な授業支援をお願いしたいが、次年度の想定予算総額を確保するためには、1年間の試験導入では効果測定が十分でなく、さらに 1~2年の試験導入を行いたい。

改善策

追加での試験導入・効果測定を行えるよう、実施回数や対象人数を限定するなどの再調整を可能な範囲で行うことで、持続可能な連携体制を提案し試験導入をサポートをすることで対応。



教員のコメント

- 文科省や自治体全体、教育委員会の教育方針によって、やらなければならない新しい授業がたくさんおいてくるが、教材研究に充てる時間がないことが課題だった。1、2回の短時間のミーティングで授業企画から準備、実施まですべてやってくれて、自分の時間が浮いただけでなく、自分では教えられない授業を子供達に届けていただいた。
- 子どもたちに学校で教えられないような授業を受けてもらいたいと思っているが、出前授業は打ち合わせが多かったり、提案があった授業を教員が「授業」の形になるように手直ししなければいけないことが多々あった。ありがたいようで、結局工数がかかってしまっていたので敬遠していた。TERAKOYA Programは打ち合わせが最小限で、授業内容と教材は手直しの必要がなかったので、本当の意味で教職員の業務時間を大幅に削減してくれた。
- 子どもたちに新しい学びを届けるために、社会のプロとの連携や、学校の先生にはできない内容を積極的に取り入れたいので、今後もぜひ関わっていただきたい。
- 無料で授業をやらせてほしいという企業が多いが、ほとんどが宣伝や販売促進の目的であるため困っている。今回の授業は、中身が国や自治体の方針、学校の考えに合った授業だったので、安心して取り入れることができた。

児童のコメント

- 出前授業はずっと大人が喋っているだけで、つまらない内容が多いけどTERAKOYA Programの授業はいつもの授業よりも面白くて、毎年来て欲しい。
- TETRAKOYA Programの授業は、他の授業よりも先生（コーチ）と距離が近いから分からないことがあっても、すぐに気が付いてもらえる。
- グループで協力するワークが楽しかった。
- TERAKOYA Programは普段の勉強以外に人生に必要なことを教えてくれると思う。
- 初めて知ることばかりでよい機会でした。またTERAKOYAのような授業をうけてみたい。
- その世界で活躍している方から実際に話を聞けるので、とても勉強になりました。また、体験もできたのが楽しかった。

会社名

イコールチャンス株式会社

所在地

東京都中央区築地3-7-11 CubeTsukiji7F

代表取締役

小川 圭美

会社URL

<https://eqc-official.com/>

サービスURL

<https://terakoya-program.com/>

お問い合わせ

info@terakoya-program.com

E Q U A L
CHANCE
MAXIMIZING YOUR VALUES